

景況

レポート

2024年7~9月期調査

景気動向の概況

業況DIは
前期比3.3ポイントプラス

今回のアンケート調査は、全国的な猛暑や台風といった季節的要因に加え、地震の発生などの影響を受けるなかでの実施となりましたが、今期の全業種業況DIは▲8.9の前期比3.3ポイントプラスとなり、全体の業況判断としてはやや改善となりました。好調なインバウンド需要に加え、自然災害に備えた食品備蓄や防災関連用品の需要拡大なども影響したものとされます。今後についてはプラス要因として、継続的な賃金引き上げによる個人消費の拡大、企業においては、IT関連の投資需要の増加が見込まれます。一方、マイナス要因としては、物流コストの増加や慢性的な人手不足などがあります。全体的には緩やかな回復基調にあると思われますが、米大統領選の行方などの政治的要因や、市場金利や為替レートの推移などについては今後も注目していく必要があります。

調査要領	合計			小売業			サービス業		
	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率
合計	1596社	450社	28.2%	253社	61社	24.1%	292社	71社	24.3%
製造業	357社	127社	35.6%	287社	85社	29.6%	288社	72社	25.0%
建設業	287社	85社	29.6%	119社	34社	28.6%			
卸売業	288社	72社	25.0%						

調査時点 / 2024年8月15日～9月5日
 調査依頼先 / 当庫取引先
 調査方法 / 郵送調査
 調査対象期間 / [今期] 2024年7月～9月
 [前期] 2024年4月～6月
 [来期] 2024年10月～12月
 分析方法 / 「増加」(上昇)したとする企業の占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。
 ※DI: Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

全業種総合DI

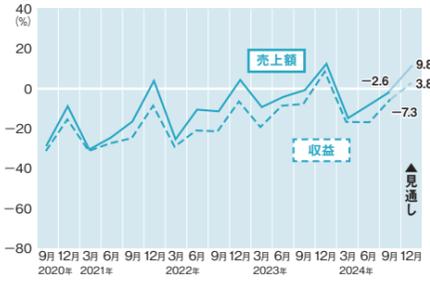
業況は
やや改善、
来期も
やや改善の見通し

業況DIの推移
全業種の業況DIは▲8.9(前期▲12.2)でやや改善しました。内訳は製造業が▲18.9(前期▲14.5)非製造業が▲5.0(前期▲11.3)となっています。来期もやや改善の見通しです。



売上額・収益DI(前期比)

売上額DIは▲2.6(前期▲9.8)でやや改善、収益DIも▲7.3(前期▲15.9)でやや改善となりました。来期は売上額DI、収益DIともに改善の見通しです。



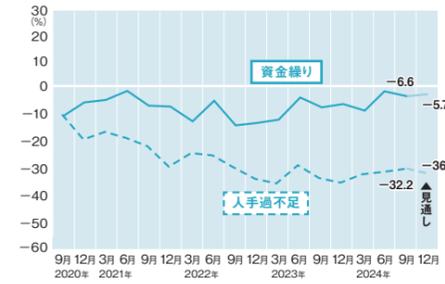
10年間の推移(価格DI)

価格は仕入れ価格DIが56.7(前期58.4)で横ばい、販売価格DIが24.4(前期30.5)でやや低下しました。来期は仕入れ価格DIが低下、販売価格DIが横ばいの見通しです。

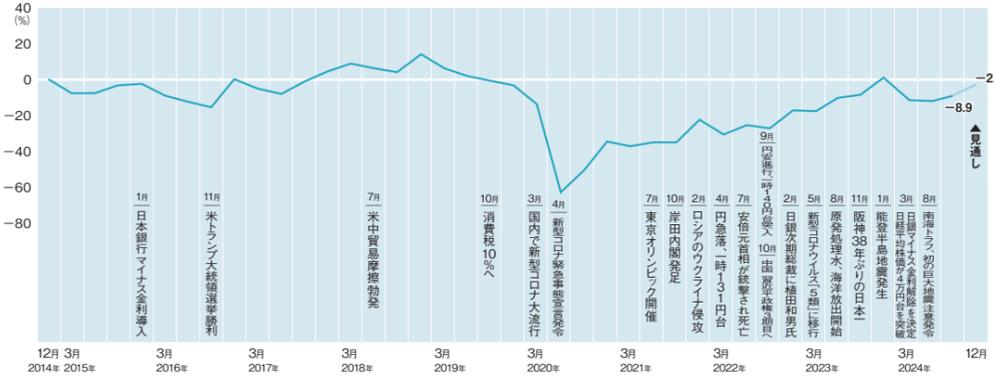


資金繰りDI:人手過不足DI

資金繰りDIは▲6.6(前期▲3.0)で悪化、人手過不足DIは▲32.2(前期▲33.1)で「不足」超となりました。来期は資金繰りDIが横ばい、人手過不足DIは「不足」超の見通しです。



10年間の推移(業況DI)



前期
今期
見通し

製造業

業況は悪化、
来期は
やや改善の見通し

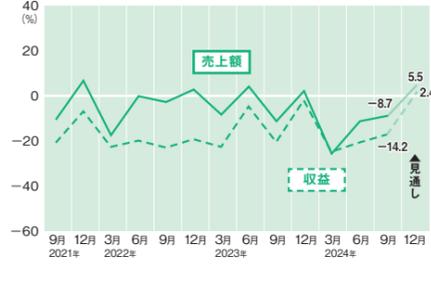
前期
今期
見通し

建設業

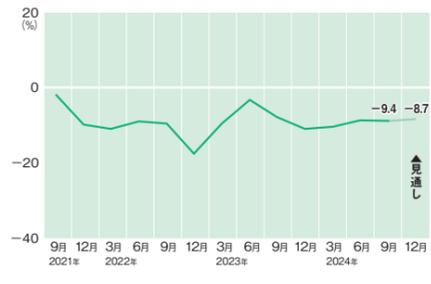
業況は
やや改善、
来期も
やや改善の見通し

前期
今期
見通し

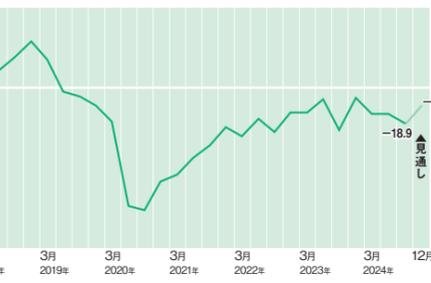
売上額・収益DI(前期比)



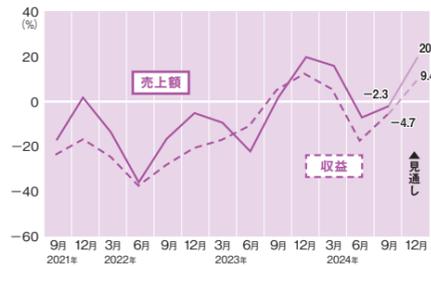
資金繰りDI



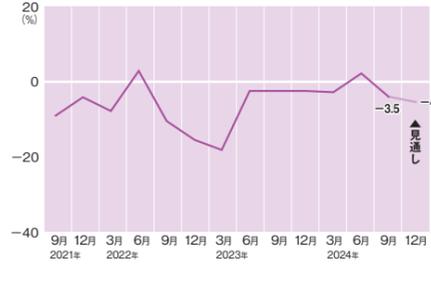
10年間の推移(業況DI)



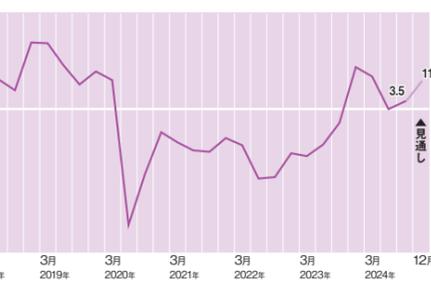
売上額・収益DI(前期比)



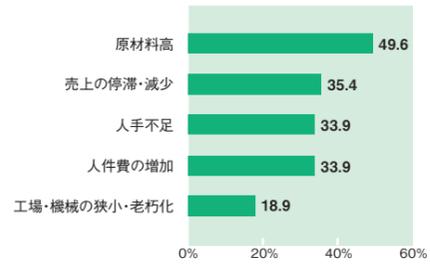
資金繰りDI



10年間の推移(業況DI)



経営上の問題点



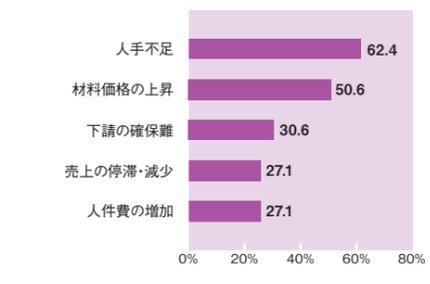
価格DI



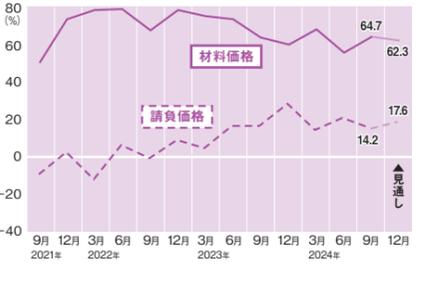
お客様の声

- 最低賃金の大幅な引き上げによるコスト増加に中小企業はついていけない。(尼崎市・製造業)
- 当社は借入金のリスク中で資金繰りに対する慎重な対応が続いている。経営改善に対する具体的な対策を模索する中、金融機関との連携を強化しながら経営の安定に努めたい。(尼崎市・製造業)
- 売上は好調であるが仕入価格が1.5倍になっている。粗利は横ばいの状況。(大阪市・製造業)

経営上の問題点

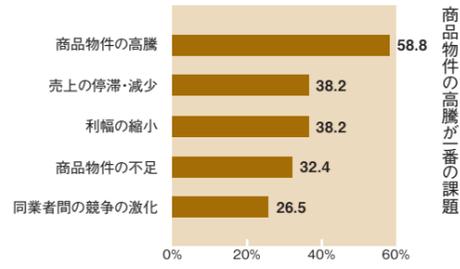


価格DI



お客様の声

- 為替に左右されない景気の回復が企業にもたらされればありがたい。(尼崎市・建設業)
- 規模の小さな工務店は、お客様に対するデジタル化やキャッシュレスの対応は厳しい面がある。(宝塚市・建設業)

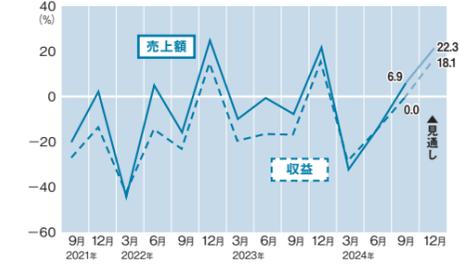
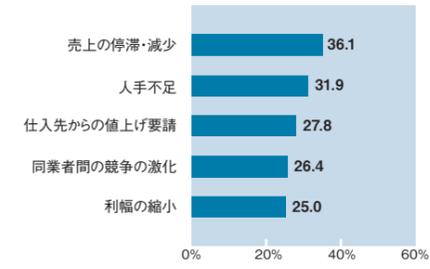


売上額D-Iは悪化、収益D-Iも悪化

不動産業

業況は横ばい、来期はほぼ横ばいの見通し

前期 ☔
今期 ☔
見通し ☔

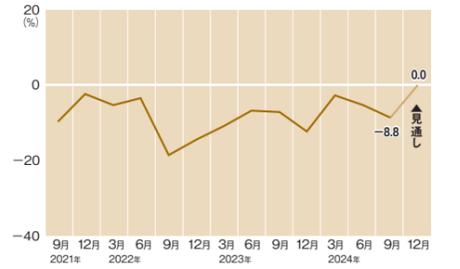
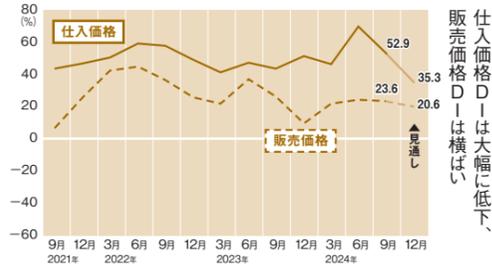


売上額D-Iは大幅に改善、収益D-Iも大幅に改善

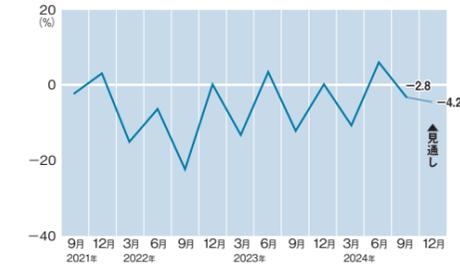
卸売業

業況は大幅に改善、来期はやや改善の見通し

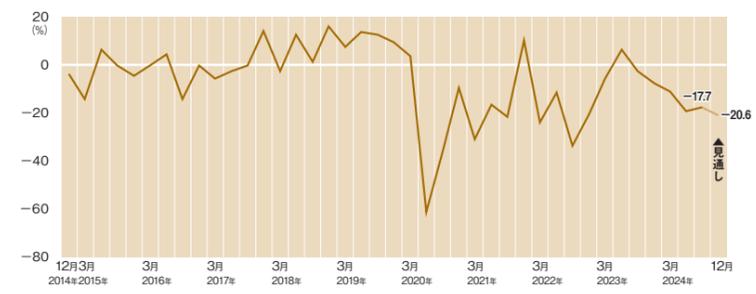
前期 ☔
今期 ☔
見通し ☔



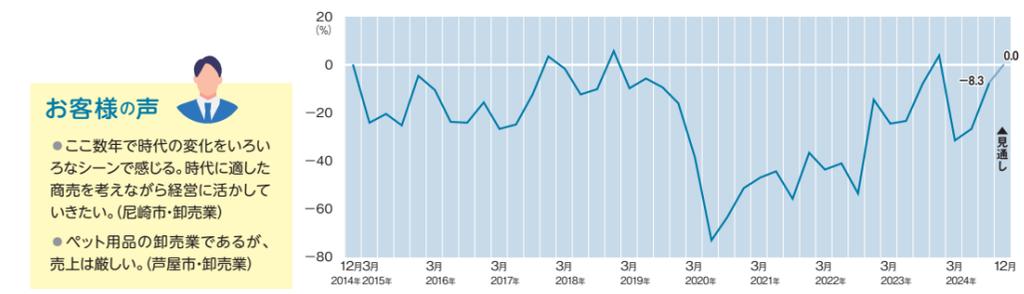
資金繰りD-Iは悪化



資金繰りD-Iは悪化



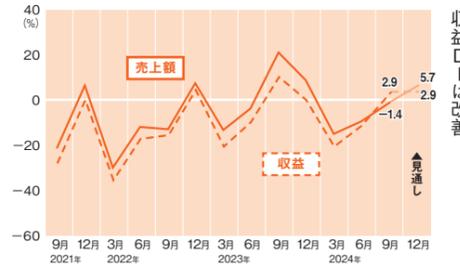
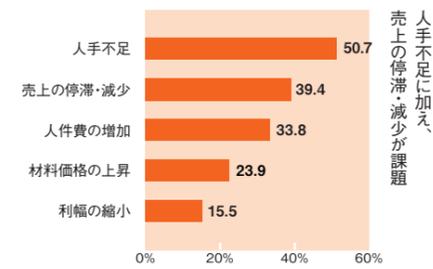
10年間の推移(業況D-I)



10年間の推移(業況D-I)

お客様の声

- ここ数年で時代の変化をいろいろなシーンで感じる。時代に適した商売を考えながら経営に活かしていきたい。(尼崎市・卸売業)
- ペット用品の卸売業であるが、売上は厳しい。(声屋市・卸売業)

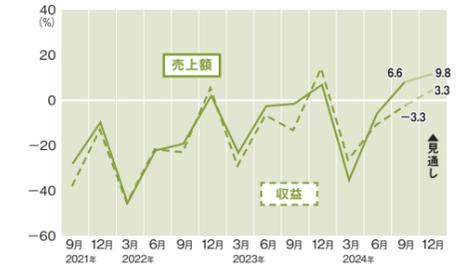
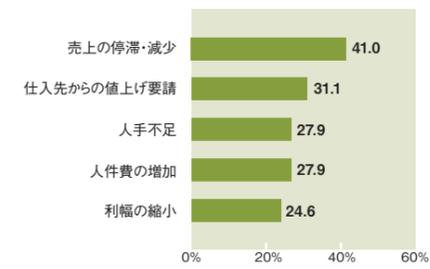


売上額D-Iはやや改善、収益D-Iは改善

サービス業

業況は悪化、来期はやや改善の見通し

前期 ☔
今期 ☔
見通し ☔

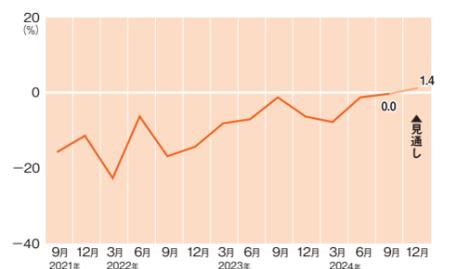
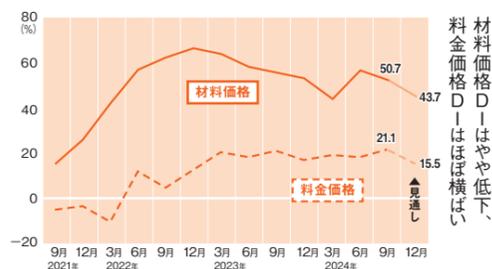


売上額D-Iは改善、収益D-Iはやや改善

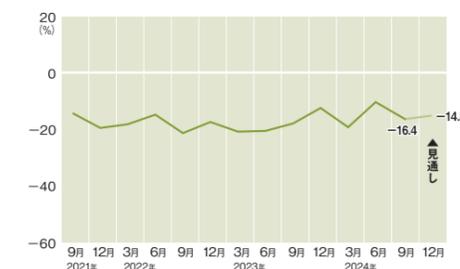
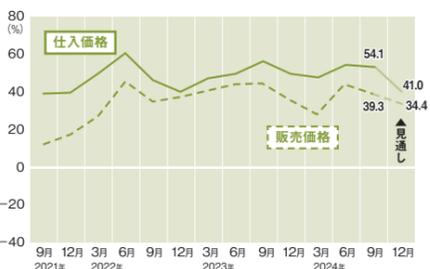
小売業

業況は改善、来期は横ばいの見通し

前期 ☔
今期 ☔
見通し ☔



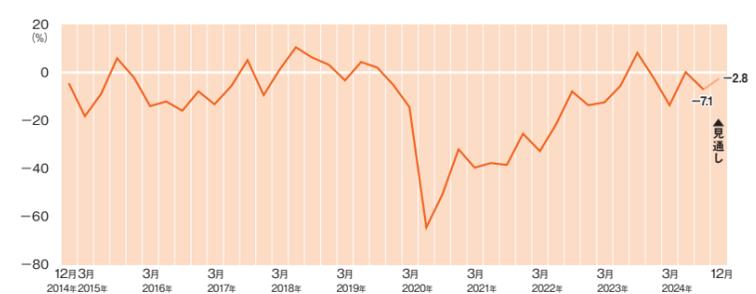
資金繰りD-Iは横ばい



資金繰りD-Iは悪化

お客様の声

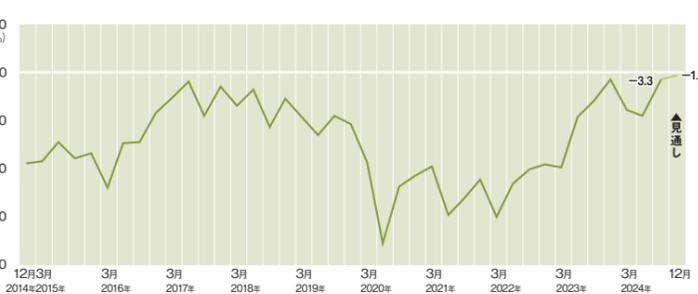
- 日本経済が衰退する一方で最低賃金が上がり苦しい状況が続いている。国が支援しない限り中小企業は厳しい状況が続くと予測される。(尼崎市・飲食業)



10年間の推移(業況D-I)

お客様の声

- 為替が円安のため、生産地シフトによるコスト削減が予定通り進んでいない。生産数量の削減などに対応している。(大阪市・小売業)
- コメが品薄で流通がストップしている。季節の変わり目で販売する商材がないのがつらいところ。(宝塚市・小売業)



10年間の推移(業況D-I)